

伊勢の森

トレイルランニングレース

2013

- Way to mt. Asama -

お伊勢参らば朝熊を駆けよ
朝熊駆けねば片参り



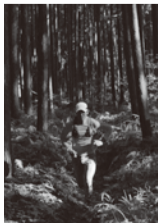
ISE WOODS | 20 TRAIL RUN | km

2013. 12. 15 sun
am 8:30 START

トレイル「山道」を走る

伊勢の森トレイルについて

伊勢の森トレイルランニングレースは「日本人のこころのふるさと」と言われる「伊勢神宮」の周辺に広がる山々が走りの舞台となります。神宮の鬼門を守る寺とされる金剛寺が建つ朝熊ヶ岳(555m)へと天へ昇るかのような道(トレイル)の宇治岳道がメインコースとなり、ここは日ごろから、地元の方々や丁寧に整備されているのでとても快適なトレイルランニングを楽しむことができます。コースの特徴は、スタート直後、昼間は多くの人々で賑わう伊勢神宮(内宮)へのメインストリートであるおほらひ町を走り、その昔にはバスや人で賑わっていたであろう面影を今なお残す宇治岳道を緩やかに駆けあげます。その先の金剛寺敷地内では、国の史跡である経塚を横目にトレイルを走り、折り返しとなる伊勢志摩スカイライン展望台に辿り着くと伊勢湾の見事な展望を覗くことができます。その後、こちらも広く眺望のきく、仏法を守護するとされる八大龍王が祭られた朝熊ヶ岳山頂へと登り、そこからは穿田気のあるシングルトラックである二瀬橋道を一気に駆け下ります。ここまで来るトレイルは最終で実際に存在する二瀬橋では川を渡渉し、地元でも知られざる豊河山(ひるごやま)の登山道の緩やかな起伏の尾根道を走り抜けるという山道を活用して作られた幹の森に辿り着きます。そしてその先に待つのがゴールである三重県営サンアリーナとなるのです。以上、レースで利用させていただくコースは走るだけでなく見どころ、楽しみどころが20kmの中に凝縮されています。参加されるランナーの皆様にはレースという競い合いの中にも、日本の歴史的文化を垣間見て伊勢の見どころをしっかりと満喫していただき、ここに広がる「伊勢の森」でのトレイルランニングを堪能していただけたら幸いです。



コースプロデュース プロトレイルランナー石川弘樹

【特別協賛】

ちょうえい
SK 長永スポーツ工業株式会社

【協賛】

サンアリーナの運営・管理を行っている会社です
株式会社スコルチャ三重

公式ホームページアドレス



<http://trailrun.sun-arena.or.jp/>

【協賛】patagonia footwear、株式会社コロニアスポーツウェアジャパン、株式会社ケンコー社、アマススポーツジャパン株式会社 【サブライヤー】moderate、BUD PALMS 【特別協力】三重県観光開発株式会社「伊勢志摩スカイライン」、有限会社森と水を守る会「森の善人」、サーモス株式会社、 【協力】金剛寺、伊勢おほらひ町会議、テフローかい、伊勢志摩おもてなしの会 伊勢までし 【主催】伊勢の森トレイルランニングレース実行委員会、株式会社スコルチャ三重 【共催】伊勢市、伊勢市教育委員会 【プロデュース】株式会社ツルスポーツマネージメント 【コースプロデュース】プロトレイルランナー 石川弘樹 【後援】神宮司庁、いせしま森林組合、(社)三重県建築士会「みえ木造塾」、(一財)伊勢志摩国立公園協会、(公社)伊勢市観光協会 【お問い合わせ先】株式会社スコルチャ三重 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4 TEL.0596-22-7700 FAX.0596-22-7710 URL.<http://trailrun.sun-arena.or.jp/>